

西原町 新たな町民活躍の拠点づくり基本計画

概要版（案）

令和5年9月

背景・目的

- ▶ 西原町中央公民館及び周辺のいいあんべー家（介護予防拠点）、社会福祉センター等の施設は、老朽化の進行、利用者の高齢化・固定化といった課題が生じています。
- ▶ 本計画は、これら施設の更新を契機に、新たな社会ニーズや町民・地域自治会のニーズなどを踏まえ、町民にとって魅力的な施設の実現と、町の財政負担の低減を目指し、施設整備に向けた根幹となる計画を示すことを目的としています。

●対象地及び主な既存施設の情報



所在地：西原町字与那城124番地ほか

規模：約13,000㎡

所有：西原町

備考：

- ・市街化調整区域に指定
- ・前面道路においてマリンタウン地区と直結される町道（シンボルロード）整備事業が予定
- ・敷地は西原町役場側より小高くなっており、南側とも高低差あり



◆中央公民館

規模：2,166㎡

構造：RC造2階建

竣工年：1978(S53)年

運営：直営



◆いいあんべー家

規模：338㎡

構造：RC造1階建

竣工年：2003(H15)年

運営：指定管理



◆社会福祉センター

規模：1,133㎡

構造：RC造1階建

竣工年：1978(S53)年

所有・運営：

西原町社会福祉協議会

計画策定の進め方

- ▶ 令和3年度に実施した導入可能性調査の結果を踏まえ、町民アンケート、ワークショップ（新たな中央公民館を考えるゆんたく会）、町民の機運醸成に向けた講演会などを開催し、町民ニーズを把握の上、計画を策定しました。



新たな中央公民館を考えるゆんたく会



講演会

本事業を取り巻く課題

- 町民意向等を踏まえた施設構成の検討
- 利用者層の拡大・多世代交流の促進
- 地域コミュニティの継承・発展
- 高齢者・障がい者等を支える福祉・防災機能の強化
- 周辺施設・計画等との連携

施設のコンセプト

- ▶ 新たな施設は、これまでの公民館の枠を更に広げ、町民一人ひとりの毎日の生活に健康と笑顔と生きがいを生み出し、すべての町民が自分らしくかがやくことのできる町民活躍の新たな拠点としての整備を目指します。



学び 社会教育・生涯学習機能を継承し、新たな発見が得られる学びの拠点

- ▶ 公民館が果たしてきた機能を大切に継承し、誰一人取り残されないデジタル社会の実現といった時代ごとに変化するニーズを的確に捉えながら、町民一人ひとりの主体的で多様な「学び」を保障し、新しい発見が得られる拠点の形成を目指します。

交流 さまざまなヒト・モノ・コトと出会える交流の拠点

- ▶ 様々な世代の町民が日常的に集い、自由に活動を楽しみ、有機的なつながりが自然に生まれる拠点の形成を目指します。

健康 生き生きとした暮らしを支える健康づくりの拠点

- ▶ 町民一人ひとりが元気に活躍し、夢と希望を持ち自分らしく輝き、生き生きとした暮らしを送り続けられるよう、健康づくりの取組を支える拠点の形成を目指します。



















共生 だれもが安心して暮らせる支え合いの拠点

- ▶ 住み慣れた地域で互いに支え合い、生きがいをもって暮らしていく「地域共生社会」の実現に向けた拠点の形成を目指します。

導入機能

- ▶ 新たな施設には、中央公民館やいいあんべ一家等既存施設の機能を継承及び拡充し、「学び」「交流」「健康」「共生」に関連する機能を導入します。
- ▶ 公共機能に加え、施設利用者や地域住民の利便性向上に資する機能を民間収益施設として誘致します。
- ▶ 避難所である町役場と隣接する立地であること、災害時における要配慮者を対象とした避難所（福祉避難所）が町内にないこと、既存施設である社会福祉センターは要配慮者への支援機能を有することから、「福祉避難所」に指定します。

施設構成及び利用イメージ

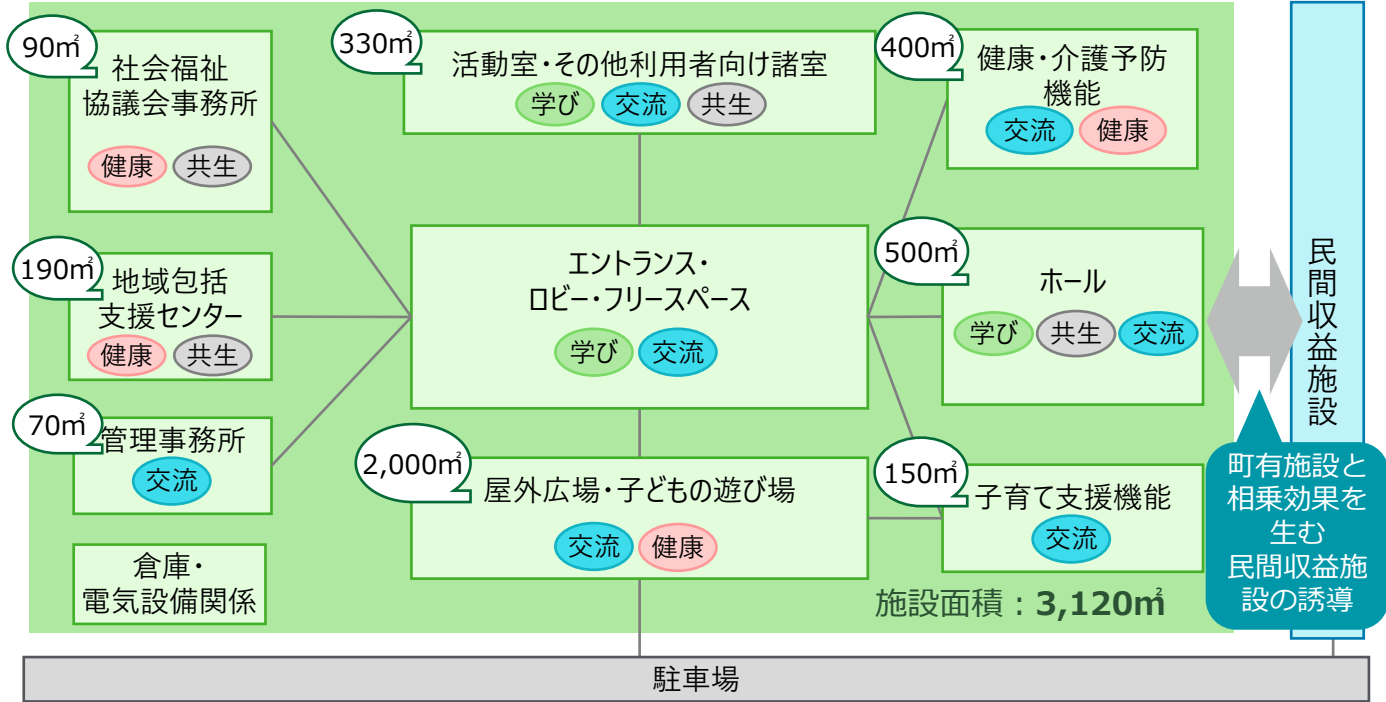
	午前	昼すぎ	夕方～夜
活動室・ その他利用者向け諸室	(こども会) 学校行事に向けた 会議に参加 	(高齢者) パソコン教室の受講 	(学生) 音楽室でバンド練習 
ホール	(高齢者夫婦) 巡回バスに乗って夫婦で来館 妻は朝からサークル活動に参加 夫は図書館で読書 	(自治会) 自治会主催の 発表会の練習 	
健康・ 介護予防 機能	(高齢者) 介護予防のための 筋トレプログラムに参加 	(子育て世帯) 家事の合間に スタジオでヨガを習う 	(社会人) 仕事終わりに マシンジムで体を動かす 
エントランス・ ロビー・ フリースペース	(主婦・主夫) 町役場の用事ついでに立ち寄り、 ロビーの展示を眺める 	(リモートワーカー) wi-fiの使える フリースペースでリモートワーク 	(高校生) 放課後はフリースペースで勉強 
子育て支援 機能	(子育て世帯) 子育てに関する相談 	(子育て世帯) 子どもと一緒に外遊び を楽しみ、さわふじ マルシェで買い物 	(小学生) 学校が終わってから友だちと遊ぶ 
屋外広場・ 子どもの 遊び場	(高齢者) 昔自治公民館でやっていた 「ラジオ体操」に参加 		
民間収益 施設 例；コンビニ・カフェ ・学習塾	(社会人) 出勤前にコンビニに立ち寄り、 ランチを購入 	(子育て世帯) カフェでパパ・ママ会 	(小中学生) 学習塾でたっぷり勉強 巡回バスに乗って帰宅 

: 町有施設として整備する機能

: 民間施設として誘導を図る機能

諸室構成・連携イメージ

□：町有施設として整備する機能 □：民間施設として誘導を図る機能



民間活力の導入方針

- ▶ 民間の創意工夫による魅力的な施設整備と運営、町の財政負担の低減と平準化等の実現のため、施設の解体・設計・建設から維持管理・運営までを包括的に発注します。
- ▶ 事業手法としては、PFI（BTO）方式又はDBO方式の採用を検討します。
- ▶ 事業期間は20年程度を想定します。

想定事業費

概算事業費

施設整備費：22.0億円
 管理運営費：43,374千円/年
 収入：6,951千円/年

財源

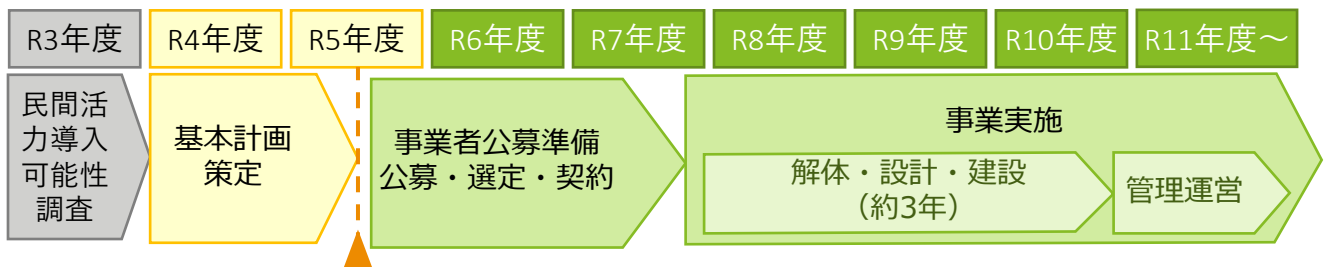
沖縄振興関連予算及び起債の活用を想定しています。
 将来世代の負担とならない持続可能な施設とするため、
 交付金の活用に向けた詳細検討・調整を行います。

今後の課題・事業スケジュール

今後の検討課題

- ① 庁内や関係団体・機関等との調整（福祉避難所や子育て支援機能の具体内容等）
- ② 施設整備に向けた詳細調査
- ③ 町民の理解促進や機運醸成
- ④ 民間事業者の参画促進
- ⑤ 行財政状況を踏まえた事業検討

事業スケジュール



西原町 企画財政課

〒903-0220 沖縄県中頭郡西原町字与那城140番地の1

TEL：098-945-4533 FAX：098-946-6086